

PL-FD500 取扱説明書

PL-FD500 は (株) デジタル製パネルコンピュータ PL-5900/PL-5910 シリーズ(以下 PL と称します)用のフロッピーディスクドライブユニットです。3.5 インチフロッピーディスクドライブを搭載しています。

対応機種 : PL-5900/PL-5910 シリーズ

下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

Pro-face : (株) デジタル



警告 安全に関する使用上の注意

- PL への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- 本FDDユニットは改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- 本FDDユニットを取り付ける際には、本書の「2. 取り付け」をよく読んで、正しく取り付けてください。
- PL は航空機器、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命の維持に関わる医療機器などの極めて高度な信頼性・安全性が求められる用途への使用を想定しておりません。これらの用途には使用できません。
- PL を運送機器 (列車、自動車、船舶等) 防災防犯装置、各種安全装置、生命の維持に関わらない医療機器などの、機能・精度において高い信頼性・安全性が求められる用途で使用する場合は、組み込まれるシステム機器全般として、冗長設計、誤動作防止設計等の安全設計を施す必要があります。

故障しないために

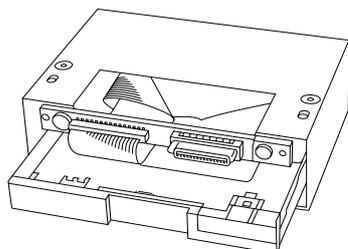
- 本 FDD ユニットは精密機器ですので、衝撃を与えないでください。
- 本FDDユニットに水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- ファイル破損を防ぐため、必ず OS を終了してから、コンピュータの電源を切るようにしてください。

梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL-FD500 本体

PL-FD500 取扱説明書 1枚(本書)



取扱説明書

取り付けネジ 4本



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1 ハードウェア仕様

性能仕様

動作モード	2MBモード記録再生	1MBモード記録再生
使用ディスク	高密度用	ノーマル密度用
アンフォーマット	2Mバイト	1Mバイト
データ転送速度	500kビット/秒	250kビット/秒
ディスク回転速度	300rpm	
トラック密度	135tpi	
トラック間移動時間	3ms	
消費電流	起動時 0.8A(typ)	R/W時 0.3A(typ)
	待機時 0.01A(typ)	
信頼性	平均故障間隔(MTBF) 30,000時間	

環境仕様

使用周囲温度	5 ~ 45
保存周囲温度	-10 ~ 60
周囲湿度	20 ~ 80%RH(結露のないこと)
耐振動性	動作時 9.8m/s ² (10 ~ 25Hz)
耐衝撃性	輸送時 980.7m/s ²

重要

- ・ 環境仕様はFDDユニット単体の仕様です。
- ・ FDDユニットを使用して格納したデータが、ハードディスクの故障や誤動作、その他不具合などにより破壊された場合、弊社はいかなる理由においても責任を負いかねます。万一に備えて、重要なデータはフロッピーディスク・光磁気ディスクなど適切なメディアにあらかじめバックアップされるようお願いいたします。

2 取り付け

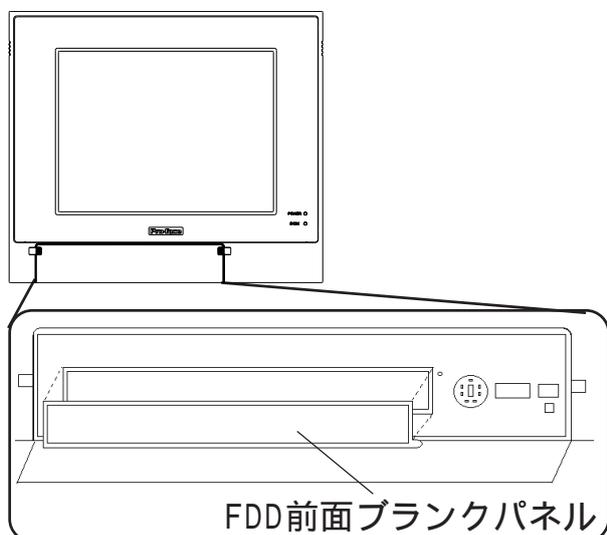
以下の方法でFDDユニットをPLへ取り付けてください。



警告

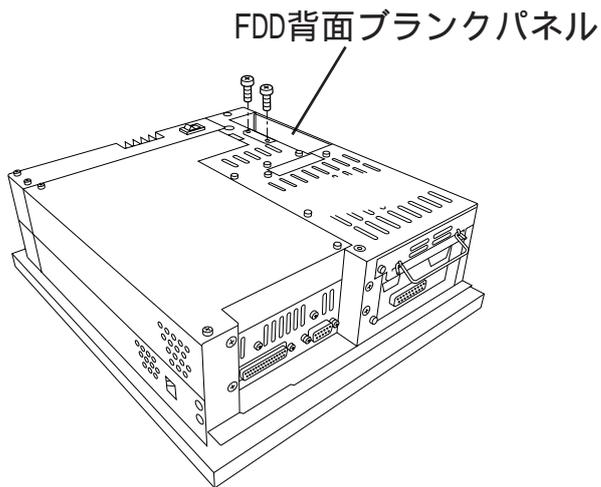
感電の恐れがありますので、必ずPLの電源を切ってから作業を行ってください。

FDDユニットの取り付けは、PL-5900T/PL-5910TとPL-5901T/PL-5911Tでは異なります。 の手順までは同様ですので機種に合わせて の手順をご覧ください。



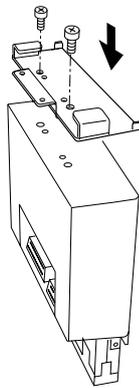
フロントメンテナンスハッチ(カバー)を開き、FDD前面ブランクパネルを取り外します。

フロントメンテナンスハッチ(カバー)を閉じます。

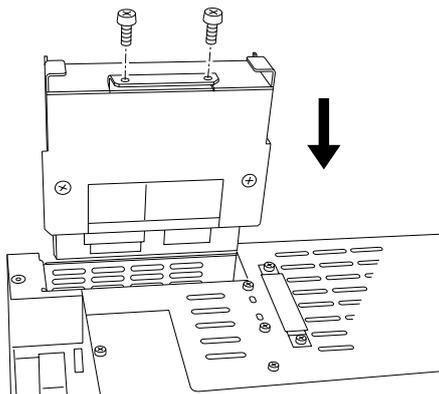


PL 背面の FDD 背面ブランクパネルのネジ(2カ所)を外し、ブランクパネルを取り外します。

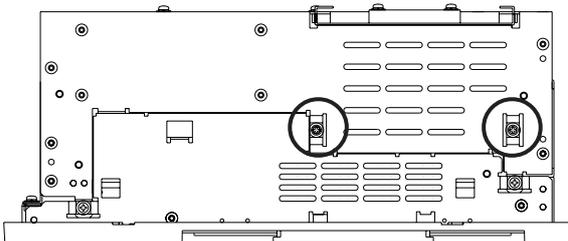
PL-5900T/PL-5910T(3 スロットタイプ)の場合



で取り外した FDD 背面ブランクパネル をネジ(2カ所)で FDD ユニットに固定します。(FDD ユニット付属のブラケットは使用しないでください。)

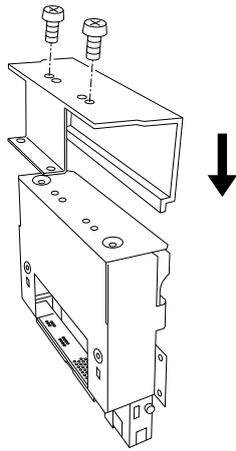


FDD ユニットを挿入し、コネクタが完全に接続されるように差し込みます。

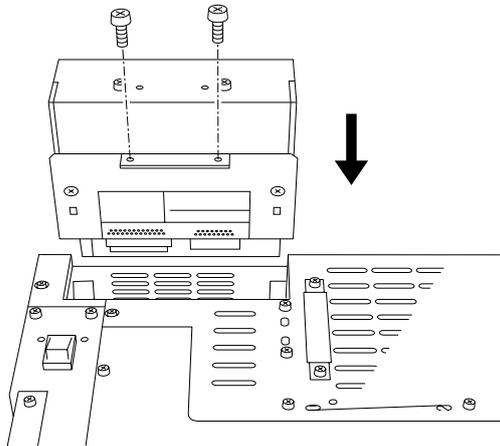


FDD ユニットをネジ(2カ所)で PL 本体に固定します。PL 底面のネジ(2カ所)も固定します。

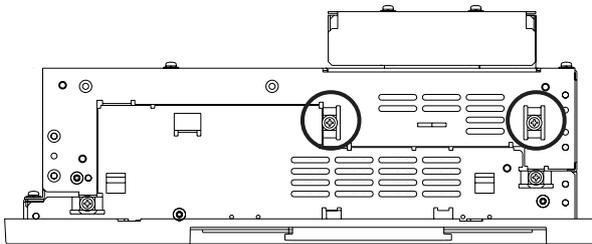
PL-5901T/PL-5911T(1 スロットタイプ)の場合



FDD ユニット付属のブラケットをネジ(2カ所)でFDD ユニットに固定します。(で取り外したFDD 背面ブランクパネルは使用しないでください。)



FDD ユニートを挿入し、コネクタが完全に接続されるように差し込みます。



FDD ユニートをネジ(2カ所)でPL 本体に固定します。PL 底面のネジ(2カ所)も固定します。



- 完全に装着された状態であってもユニットの一部が外部に飛び出します。

3 ハードウェアセットアップ

以下の手順に従って、ハードウェアのセットアップを行ってください。なお、手順の中で使用されている BIOS 画面は PL-5900 シリーズのものです。が、セットアップ手順は PL-5910 シリーズでも同様です。

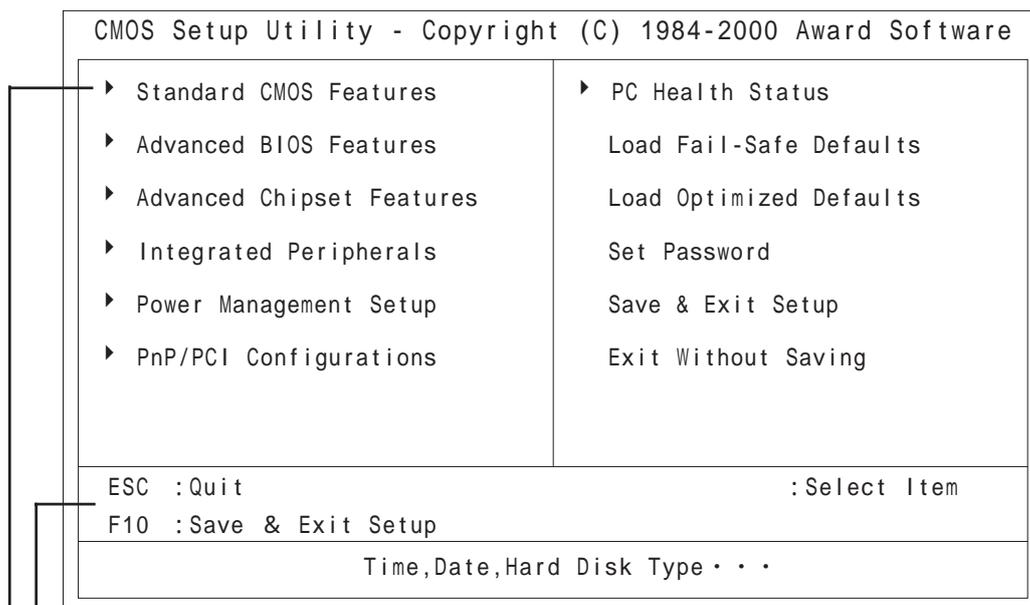
重要 ・ BIOS 画面はバージョンアップにより変更になる場合があります。

PL にキーボードを接続します。

PL の電源を ON します。

画面左下 “ Press to Enter SETUP ” のメッセージが表示されたら、[DEL]キーを押し続けます。

セットアップユーティリティが起動し、次のような画面が表示されます。



キー操作一覧

セットアップで使用するキーの一覧です。

システム設定エリア

各メニューで設定するシステム項目が表示されます。

カーソルを移動して “ STANDARD CMOS SETUP ” を選択すると次の画面が表示されます。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software Standard CMOS Features		Item Help
Date (mm:dd:yy):	Thu, Aug 24 2000	Menu Level ▶ Change the day, month, year and century
Time (hh:mm:ss):	11 : 15 : 14	
▶ IDE Primary Master	Press Enter 10056 MB	
▶ IDE Primary Slave	Press Enter None	
Drive A	1.44M, 3.5 in.	
Drive B	None	
Video	EGA/VGA	
Halt On	All,But Keyboard	
Base Memory	640K	
Externded Memory	56320K	
Total Memory	57344K	
:Move Enter:Select +/-/PU/PD:Value F10:Save ESC:Exit F1:General Help		
F5:Previous Values F6:Fail-Safe Defaults F7:Optimized Defaults		

“Drive A:” が “1.44M, 3.5 in.” に設定されている事を確認します。もし設定されていない場合は、“Drive A:” にカーソルを合わせ、[PU][PD]キーまたは[+][-]キーでドライブ “1.44M, 3.5 in.” を選択します。

[ESC]キーを押して最初のメニュー画面に入ります。

“SAVE & EXIT SETUP” にカーソルを合わせ[Enter]キーを押します。

“SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)? N” が表示されたら “Y” キーを押してセットアップユーティリティを終了します。

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害およびその他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒 559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

T E L (06)6613-1101 (代)

F A X (06)6613-5888